

下森副委員長（自民議連）

平成30年3月12日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問） 県立三次中・高等学校の寮及びグラウンドの整備について

県立三次高等学校に新たに中学校が併設されることによって、現在の寮が逼迫するのではないかと、また、グラウンドが1つしかないため体育の授業や運動部の部活動など教育活動に支障を来すのではないかと懸念している。

そこで、県立三次中学校・高等学校における寮及びグラウンドの整備について、どのように課題を認識し、またどのように対応していこうとしているのか、併せて教育長の所見を伺う。

（答）

三次中学校・高等学校の生徒寮につきましては、備北地域の中学校への影響を最小限に抑えるため、入学定員や通学環境なども考慮して対応する必要もあり、現時点におきましては、整備の計画に含めていないところでございます。

また、グラウンドにつきましては、かつて三次高等学校の学級数が、現在の学級数を大きく上回っていた時期におきましても、工夫をして活用してきており、1学年2学級規模の中学校を設置した場合におきましても、例えば、

- ・ 体育の授業では、時間割を工夫すること
- ・ 運動部の部活動につきましては、中学生と高校生の合同練習の実施や、練習時間帯や練習日の工夫、学校外の施設を活用すること

など、効率的に活用することにより、十分対応できるものと考えているところでございます。